

合成樹脂の加工、販売を手がけるウェーブブロック・アドバンスト・テクノロジー(東京都中央区)は、自動運転や電動化をビジネスチャンスと捉えている。自動車部品への採用拡大を狙って「金属調加飾フィルム」などの自社技術の提案に本腰を入れている。島田康太郎社長に方針の狙いや今後の事業展開などについて聞いた。

(織部 泰)

「自動運転や電動化など業界の変革をどう捉えているか」  
「自動車業界はゲームチェンジが起きており、チャンスと捉えている。成長性という意味でも、グループの中でも期待をされているビジネスといえる」

## インタビュ

### 金属調加飾フィルムなどの提案に力を入れる

### ウェーブブロック・アドバンスト・テクノロジー 島田 康太郎社長



「電動化では、軽量化技術は一つの重要な要素となるが、軽量化という意味で、金属調加飾フィルムは樹脂めっきに比べて軽くなる。質感も樹脂め

つきと比べて遜色なく再現することができ、特に軽量化が求められる自動車ではこうした技術へのニーズが高まると思われる」

への貢献をはじめ、機能性をアピールしていきたい。海外では、米国(2018年)やドイツ(19年)で現地法人を立ち上げて活動している。電動化

らこそ、こういった波に乗るべく、われわれとしてもしっかりと準備をしていくべきだと考える」

い。人材や工場の増強は着実に進めている。金属調加飾フィルムは茨城県古河市で生産しており、生産増強に向けて生産スペースを広げている。設備投資額はすでに承認を得ているもので、10億円弱ぐらいという

## 電動化でニーズが拡大

## 軽量、機能性を訴求

「自動車部品への採用を見据え、今後、自社技術をどうアピールしていくか」

「自動車部品としてフィルムが使われるよう、スペックや耐久性を含めて品質向上を図っていききたい。昨今はスピード感を求められる状況にあり、自社の努力だけでなく他社と協力することも選択肢の一つとして取り組んでいく」

「プロフィル」はまだ、こうたるう。2003年3月慶応義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了。06年8月日本ウェーブブロック(現ウェーブブロックホールディングス)入社。10年4月ウェーブブロック・アドバンスト・テクノロジーに転籍し、取締役兼執行役員。16年4月から現職。1974年10月生まれ、47歳。兵庫県出身。

「自動車メーカー各社のクルマのつくり方などが変わってきている中で、単なる塗装やめっきなどからの置き換えではなく、軽量化

「設備や人的投資の状況は」  
「今後、生産のキャパシティを上げていかなければなら

「今後、生産のキャパシティを上げていかなければなら